

ちょっとだけ!!
フライングディスク
将来構想会議
2020

将来構想メモvol.11(2020/11/24)

FlyingDiscTimes
presents

<ゲストプロフィール>

吉田昭彦

活動拠点:世界中

関わり方:(株)クラブジュニア代表取締役社長

一般社団法人フライングディスク協会指導普及委員長、事務局長を歴任後、理事長
6期12年、現在顧問

日本アルティメット協会 初代会長

公認インストラクター1級

横田浩

活動拠点:熊本をはじめ九州全般

関わり方:(有)ディスクスポーツ代表取締役

獨協大学ワフトOB

全日本アルティメット優勝

全日本個人総合優勝

全日本ディスクゴルフ優勝

<フライングディスクをこうしていきたい>

- ・道具が簡単に手に入る環境作り
- ・競技志向が高いだけでなく特色を持った大会作り

<困っていること / 課題>

- ・地域とのつながり

＜考えている解決策＞

・ディスクの販路

ディスクプレイヤーだけでなく、初心者がいつでも手に取れる環境を作る

→スポーツショップや玩具メーカーなどで公式ディスクの販売

→普及ディスクはデザインなどをおしゃれにしてアパレルの店頭など

・参加者が楽しめる大会づくり

競技志向が高い大会だけでなく、様々なコンテンツを盛り込む

例)・競技の公式ルールとは違う参加者に合わせた人数、コート設定

・BBQやクリスマスなど季節にあったコンテンツを盛り込む

・都道府県協会との連携

都道府県協会としての活動ができていない地域に上手くアプローチしていきたい

競技者と県協会を繋げる手伝いができるといい

<論点の整理>

- ・いつどこで誰もがディスクを手に入れることができる環境づくり
「スポーツ」にとらわれず「玩具」や「デザイン」という切り口での普及
- ・「参加者が楽しめる」ことを考える
競技志向が高いだけでなくフライングディスクを「楽しむ」気持ちを忘れない
- ・フライングディスクコミュニティの人々を上手く巻き込む
発展途上の地域には競技者を上手く巻き込んでアプローチしていく必要がある。
各都道府県協会の活動を後押しできる存在になる

参加者写真

担当メンバー: 山下 洋史

